

■ 掲示板

■ 第12回（平成24年度）財団法人材料科学技術振興財団 山崎貞一賞候補者募集

1. 授賞対象分野

- (1)「材料」(2)「半導体及び半導体装置」(3)「計測評価」
(4)「バイオサイエンス・バイオテクノロジー」

2. 授賞対象者：

- (1) 授賞対象は、論文の発表、特許の取得、方法・技術の開発等を通じて、実用化につながる優れた創造的業績を上げている人（複数人可・総計3名以内）とします。
(2) 候補者の国籍は問わず、日本国内において業績をあげた人を授賞対象とします。
(3) 過去に応募されたことのある人でも再応募可能です。

3. 顕彰：各分野それぞれに賞状及び副賞（18金メダル・賞金300万円）を贈呈します。

4. 募集期間：平成24年2月1日から4月末日（必着）

5. その他：詳細につきましては、ホームページをご覧ください。
※検索サイトで“山崎貞一賞”と検索下さい。トップページ（<http://www.mst.or.jp/prize/>）へのリンクがすぐに見つかります。

6. 推薦書・応募書請求先、提出先：

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見 1-18-6
財団法人 材料科学技術振興財団 山崎貞一賞事務局
TEL：03-3415-2200 E-mail：prize@mst.or.jp
FAX：03-3415-5987 URL：http://www.mst.or.jp/prize/

■ 平成24年度後期 高エネルギー加速器研究機構 物質 構造科学研究所 放射光共同利用実験課題公募

募集対象：当施設の放射光および低速陽電子を利用する実験。
主に大学等の研究者を対象としますが、科学研究費補助金の申請資格を有する企業等の基礎研究も対象となります。

応募期限：平成24年5月4日（金）17時

応募要領：実験課題申請システム <https://pmsweb.kek.jp/k-pas/> を利用した電子申請となります。

申請受付は平成24年4月初旬からの予定です。

具体的な申請書作成等に関する詳細については <http://www.kek.jp/uskek/apply/pf.html> を参照ください。

その他：研究成果は公表していただきます。

問合せ先：

高エネルギー加速器研究機構
研究協力部研究協力課
共同利用支援室共同利用係
e-mail：kyodo1@mail.kek.jp
Tel：029-864-5126

■ 大学共同利用機関法人自然科学研究機構分子科学研究 所助教公募

分子科学研究所では、下記の要領で助教を公募しますので、適任者の推薦、希望者への周知方をよろしくお願ひします。

1. 人数及び研究分野：

- (1) 生命・錯体分子科学研究領域 生体分子情報研究部門 助教 1名
(2) 時計タンパク質の機能解明に意欲ある研究者。タンパク質を研究対象とした生化学、生物物理学、構造生物学等の経験があることが望ましい。なお、今回公募の助教は、秋山修志教授（平成24年4月着任）と協力して研究を行う。

2. 資格：修士課程修了者又はこれと同等以上の学力を有する者。

3. 任期：6年を目途に転出を推奨する。

（詳細は、ホームページ <http://www.ims.ac.jp/jinji/index.cgi> を参照）

4. 公募締切：平成24年5月10日（木）（当日消印有効）

5. 就任時期：できる限り早期を希望する。

6. 提出書類（詳細は、ホームページ <http://www.ims.ac.jp/jinji/index.cgi> 参照）

- (1) 推薦書（自薦の場合は必要ありません。）
(2) 履歴書（所定書式に従って下さい。）
(3) 研究業績の概要（A4用紙で2ページ以内）
(4) 業績リスト（所定様式に従って下さい。）
(5) 主要論文5編以内の論文別刷又はプレプリント 各2部
※原則として、提出書類の返却はいたしません。

7. 選考方法：分子科学研究所運営会議人事選考部会の審議を経たうえで決定する。ただし、適任者のない場合は、決定を保留することがある。

8. 送付先及び問合せ先：

- (1) 送付先
〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38番地
大学共同利用機関法人自然科学研究機構
岡崎統合事務センター 総務部総務課 人事係
（「生体分子情報研究部門助教 公募書類在中」と朱書きして、簡易書留で送付すること。）

- (2) 問い合わせ先（給与等の待遇を含む。）
大学共同利用機関法人自然科学研究機構
岡崎統合事務センター 総務部総務課 人事係
電話：0564-55-7113
ホームページ <http://www.ims.ac.jp/>

9. その他：

分子科学研究所は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画に取り組んでいます。

なお、具体的内容は、ホームページ <http://www.ims.ac.jp/jinji/sankaku.html> を参照下さい。

■独立行政法人理化学研究所 和光研究所 仁科加速器 研究センター 安全業務室 職員公募

公募人員：研究員または技師1名（任期なし）

専門分野・仕事内容：

当センターは、2台のリニアックと5台のサイクロトロンで構成される大強度重イオン加速器施設、RIBFを運用しており、ウランまでの加速を行っている。また電子シンクロトロン蓄積リングも稼働しており、ウラン標的に付随した同位体分離器を用いた不安定核の電子散乱実験装置、SCRITを建設中である。ここでの安全管理を担当し、それに必要な研究開発を行う。当室はラジオアイソトープ実験棟の安全管理も所掌している。

応募資格：第1種放射線取扱主任者資格を有することが望ましい。研究員への応募の場合は1年以上の海外研究歴を有することが望ましい。

提出書類：(1)履歴書（写真付）、(2)研究業績一覧、(3)現職の所属長を含む推薦書2通（内、最低1通は外国人からのものとする[研究員への応募の場合]。また、現職の所属長から推薦書をもらうのが困難な場合は、第3者による推薦書）宛名は「独立行政法人理化学研究所 理事長」、(4)これまでに獲得した外部資金リスト（書式自由）

着任時期：2012年10月1日以降早期

応募締切：2012年6月15日（金）17時 必着

書類送付先：

〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1、独立行政法人理化学研究所、基礎基盤研究推進部、研究業務課宛（簡易書留または書留で送付すること。封筒に、「安全業務室 研究員 応募書類在中」と朱書きすること。）

問合せ先：rps-saiyo24@riken.jp（電話は不可）、詳細は<http://www.riken.jp/r-world/info/recruit/index.html>をご参照ください

■独立行政法人理化学研究所 播磨研究所 放射光科学 総合研究センター 定年制研究員 募集

募集研究室：城生体金属科学研究室（主任研究員：城 宜嗣）

研究室の概要：

当研究室では、生体内に数多く存在する金属タンパク質・酵素の構造・機能解析で多くの成果をあげています。現在は、金属元素の生体内動態を、関連するタンパク質の構造を基盤に理解することも目標にして研究を行っています。（<http://www.riken.jp/biometal/>参照）。

募集職種、募集人数及び職務内容：

研究員（定年制）1名。SPring-8ならびにSACLAの最先端利用による生命化学研究に意欲のある方を求めます。

応募資格：博士号を取得していること。1年以上の海外研究歴を有することが望ましい。

勤務地：放射光科学総合研究センター（SPring-8内）

〒679-5148 兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1

待遇：定年制職員（60歳定年）。但し、採用時の審査結果によっては5年間の任期制職員として採用され、3年終了後に定年制移行審査を受けることになる。任期制職員として雇用される場合の年収・勤務条件は定年制職員に準じる。年俸制（規程に基づき諸手当支給）。社会保険の適用有り。理研共済会（互助組織）に入会（理研共済会規約による）。休日は、土日、祝日、年末年始（12/29-1/3）、当研究所設立記念日。その他、当研究所規程による。日本学生支援機構奨学金（平成15年度までに大学院第一種奨学生に採用されている場合）の返還特別免除の対象、科学研究費補助金の申請資格有り。

応募方法及び締切日：

[提出書類] (1)履歴書（写真付）、(2)研究業績一覧、(3)現職の所属長を含む推薦書2通（内、最低1通は外国人からのものとする。また、現職の所属長から推薦書をもらうのが困難な場合は、第三者による推薦書）。推薦書の宛名は、「独立行政法人理化学研究所理事長」として下さい。(4)これまでに獲得した外部資金リスト（書式自由）

[締切日] 平成24年6月15日（金）17時必着

※提出していただいた書類は返却致しませんのでご了承ください。

選考方法：書類選考後、面接を行う。

着任時期：平成24年10月1日、またはそれ以降早期

書類送付先：

〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1

独立行政法人理化学研究所 基礎基盤研究推進部 研究業務課（封筒に「城生体金属科学研究室 研究員 応募書類在中」と朱書きし、簡易書留または書留で送付すること。）

問合せ：メール：rps-saiyo24（この後に“@riken.jp”を追加して下さい）

メールでの申請や電話での問合せは受け付けません。

詳細は、http://www.riken.jp/r-world/info/recruit/k120615_e_rsc.html（日本語）、http://www.riken.jp/engn/r-world/info/recruit/k120615_e_rsc.html（英語）参照

■会告

■第16回日本放射光学会奨励賞選考結果報告

2011年9月26日開催の学術等専攻委員会の選考結果として2名が推薦された。

氏名、所属、並びに、選考理由は下記の通り。

その結果を受け第92回評議員会にて第16回日本放射光学会奨励賞の授与が承認され、第25回総会にて賞状並びに副賞のメダルが授与された。

- ・岩澤英明（広島大学放射光科学研究センター）

「真空紫外線域の放射光を用いた酸化超伝導体の微細電子構造の研究」

岩澤英明氏は、これまで、放射光を用いた真空紫外領域における角度分解光電子分光の精度を飛躍的に向上させ、酸化超伝導体における微細な電子構造の変化を明らかにしてきた。特に、銅酸化高温超伝導体 Bi₂212 において、電子格子相互作用が強いため生じる巨大アイソトープ効果を見出したとする著名な先行研究を見事に覆し、実際はアイソトープ効果が数 meV のわずかなものであることを明らかにした。この結果は高温超伝導体の分野で大きな注目を浴びた。その他に、Sr₂RuO₄ 酸化超伝導体などにおいても、精密な電子構造の研究を行い、電子相関、スピン軌道相互作用、電子-ボゾン相互作用などの効果を明らかにした。

更に、岩澤英明氏は、広島大学 HiSOR の角度分解光電子分光ビームライン BL1 の建設及びその共同利用実験において中心的な役割を果たした点も高く評価できる。

以上のように、岩澤英明氏の業績は、先端計測分野を牽引していく若手研究者の1人として認められる。同氏の真空紫外領域の放射光科学の進展における功績は大きく、日本放射光学会奨励賞に十分値するものである。

- ・豊田智史（東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻東京大学放射光連携研究機構）

「放射光光電子分光による MOSFET ゲートスタック構造の界面電子状態解析」

豊田氏は9年間の長期にわたり一貫して、光電子のスペクトル測定により化学状態の深さ方向分析を行う手法の開発とその放射光ビームラインにおける検証・応用を中心に半導体薄膜、界面の研究を行ってきた。最大エントロピー（MEM）法を適用してスペクトル強度の脱角依存性を解析する深さ方向分析手法に内在する諸問題を正確に理解して、独自のソフトウェア開発を行ってきた努力が高く評価できる。豊田氏はまた SPring-8 の東大ビームライン BL7LSU におけるナノ集光軟 X 線を利用した走査型顕微鏡である nanoESCA 開発の主要メンバーとして貢献してきた。豊田氏が開発してきた深さ方向分析手法はこの nanoESCA による3次元化学状態分析のための最重要要素であり、Si-LSI をはじめ先端デバイスにおけるナノ多層薄膜材料の解析への応用が展開されてゆくものと期待される。以上、豊田氏はすでに重要な実績を上げ、さらに将来への広い展開が見込まれており、その功績は日本放射光学会奨励賞に十分値するものである。

■日本放射光学会第93回評議員会議事録

日時：2012年1月6日（金） 12:00~13:00

場所：鳥栖市中央公民館 研修室

出席者：朝倉清高、足立純一、足立伸一、雨宮健太、大橋治彦、柿崎明人、加藤政博、河田 洋、北村英男、木下豊彦、木村 滋、小林克己、坂田 誠、佐々木 聡、高田昌樹、谷口雅樹、野村昌治、初井宇記、平井康晴、藤森 淳、宮原恒昱、百生 敦、渡邊信久、木村洋昭（庶務幹事）、唯美津木（会計幹事）、松田 巖（行事幹事）、水木純一郎（会長）、若槻壮市（渉外幹事）、木村真一（前会計幹事）

欠席者：籠島靖、澤 博、大門 寛、竹田美和、柳下 明、横山利彦、玉作賢治（編集幹事）

事務局：佐藤亜己奈（WORDS）、西野三和子（WORDS）

〈審議事項〉

1. 2011年度決算
木村前会計幹事より2011年度決算について報告があり、承認された。2011年度決算では、毎年資産として計上していた会費収入未集金を廃止した。また、2010年度決算過年度修正分（収入・支出）を計上、年会合同シンポ立替金における使途不明金71万円を清算した。
2. 2012年度予算
唯会計幹事より2012年度予算の説明があり、承認された。2012年度予算では、会費収入に未収金を立てることを廃止した。また、新たに特別賛助会員費、AOFSSR 協賛金、電子書籍試作費を計上、ワーズ手数料の透明化等を行った。
3. 評議員数の削減について
水木会長より、ここ数年会議費が大幅に増加している旨の説明があり、会議費削減のため評議員数を削減することが提案された。審議の結果、評議員数の削減については継続審議とし、会議費の削減への対策として一度テレビ会議での委員会開催を試みることにした。
4. 2012年度渉外幹事活動方針および学会 HP の改訂方針について
若槻渉外幹事より2012年度の活動方針および学会ホームページの改訂方針について説明があった。学会ホームページについては渉外委員会副委員長の平木氏を中心に、現状のホームページ見直しを行うとの説明があった。
5. 年会・合同シンポジウム（JSR13）からの発表資格変更について
現在、年会・合同シンポでは日本放射光学会会員、または共催団体の会員・職員に発表資格があるが、共催団体である PF 懇談会、SPring-8 利用者懇談会の改組に伴い、日本放射光学会に入会せずに共催団体会員として発表できる人数が増えることが考えられる。そのため、その対策案の1つとして JSR13 から発表資格を日本放射光学会会員に限ることが提案された。これについては年会・合同シンポジウムから日本放射光学会年会へ変更することも含めて審議することとし

た。

6. 第25回総会議事案
木村庶務幹事より、第25回総会の議事案について説明があり、これを承認した。
7. 特別賛助会員の制定について
特別賛助会員の入会案内および入会申込書案が示され、これを承認した。
8. 会員異動
木村庶務幹事より、第92回評議員会以降の入退会申請者に関して、入会：正会員8名（うち学生会員4名）の報告があり、これを承認した。退会に関して、退会：正会員6名（うち学生会員0名）、賛助会員1社を確認した。2012年1月6日現在の総会員数は1,373名（うち学生会員114名）、名誉会員5名、シニア会員5名、賛助会員46社（48口）。また、会費3年間未納のための自動退会者36名、3社を確認した。
9. 協賛・後援について
本学会に対する協賛・後援依頼について報告があり、協賛3件、後援3件、共催1件を承認した。

〈報告事項〉

1. JSR12・市民公開講座準備状況
松田行事幹事より第25回年会・合同シンポ（JSR12）および市民公開講座「放射光で解き明かす太陽系と地球の謎」の準備状況について報告があった。また、第26回年会・合同シンポ（JSR13）について、2013年1月11日（金）～14日（月）に名古屋大学で開催予定であることが報告された。
2. 放射光ビームライン光学技術入門の増刷について
講談社サイエンティフィックで「ビームライン光学技術入門」の増刷を検討中との報告があった。講談社サイエンティフィックでの増刷が難しい場合には、以前の印刷所を利用して増刷することを検討する。
3. 東日本における新時代中型高輝度放射光施設計画
水木会長より「東日本における新時代中型高輝度放射光施設計画」について説明があり、学会としてサポートをするため特別委員会を立ち上げる予定であることが報告された。
本評議員会後、評議員のメール審議により、特別委員会を設置することが承認された。

■第25回（2012年）日本放射光学会総会議事録

日時：2012年1月7日（土） 15：45～17：15

場所：鳥栖市民文化会館大ホール

出席者：104名 委任状：72名 計：176名

定款第28条により、正会員の1/10（137名）以上の参加で総会は成立。

（議事）

1. 議長選出
議長に野村昌治会員を選出した。
2. 2012年度会長挨拶
水木会長より挨拶があり、2012年度の活動方針について所信表明があった。
3. 2011年度事業報告
木村庶務幹事より2011年度の学会活動について報告があっ

た。

4. 2012年度事業計画・2012年度学会組織
木村庶務幹事より2012年度の事業計画および2012年度の学会組織（会長、幹事、評議員、各委員会）について報告があった。
5. 2012年度行事活動方針
松田行事幹事より2012年度の行事活動方針について報告があった。年会・合同シンポ、放射光基礎講習会、若手研究会を開催予定。
6. 2012年度渉外活動方針
若槻渉外幹事より2012年度の渉外活動方針について報告があった。今年度は、ホームページ改訂作業に向けて渉外委員会を立ち上げる。
7. 2012年度編集方針
水木会長より2012年度の編集方針について報告があった。2012年5月より学会誌2色刷り化、2014年1月より完全電子化の予定。
8. 2011年度決算報告
木村前会計幹事より2011年度の決算報告があり、これを承認した。
9. 2012年度予算案
唯会計幹事より2012年度予算案が示され、これを承認した。
10. 第16回学会奨励賞
下記の2名を第16回学会奨励賞の受賞者として決定した旨の報告があった。
岩澤英明会員（広島大学放射光科学研究センター）
「真空紫外線域の放射光を用いた酸化物超伝導体の微細電子構造の研究」
豊田智史会員（東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻東京大学放射光連携研究機構）
「放射光光電子分光によるMOSFETゲートスタック構造の界面電子状態解析」
11. 定款第1章総則第2条の改訂について
学会の定款において、放射光科学、放射光技術およびこれらに密接に関連する学問（以下、放射光科学という）の進歩発展を図ることが目的として明記されているが、「社会貢献」「産業への貢献」に関する文言が含まれていない。昨今の情勢を鑑みると、これらの文言を定款に含めるべきではないかという提案があった。検討の結果、定款の改訂について下記の通り承認した。

(改訂前)	
定款第1章、第2条	本会は、放射光科学、放射光技術およびこれらに密接に関連する学問(以下、放射光学という)の進歩発展を図ることを目的とする。
(改訂後)	
定款第1章、第2条	本会は、放射光科学、放射光技術およびこれらに密接に関連する学問(以下、放射光学という)の進歩発展を図り、社会へ貢献することを目的とする。

12. 特別賛助会員の制定
現在の学会会計における収支バランスの問題、特に「年会の

収益金がないと赤字」,「賛助会員収入+会誌広告収入の減少」,「学会誌出版費の会費収入に対する割合が高い」等についての説明があり,この対策について議論がなされた。議論の結果,特別賛助会員の 신설およびそれに伴う定款の改訂について第2章第6条を除いて下記の通り承認した。

第2章第6条に関しては,学会年会・合同シンポジウムを共催する団体が全て特別賛助会員になるように読み取れるので,条文の修正を行い,評議員会の承認を持って定款の改定を行うことを承認した。

(改訂前)	
定款 第2章,第5条	会員は,正会員,賛助会員,購読会員,シニア会員および名誉会員から成る。
(改訂後)	
定款 第2章,第5条	会員は,正会員,特別賛助会員,賛助会員,購読会員,シニア会員および名誉会員から成る。

(改訂前)	
定款 第2章,第6条	正会員は放射光学の分野に関して学識を有し,評議員会によってその入会が適当と認められた者とする。 賛助会員は本会の目的に賛同し,その事業を援助する者または団体とする。 購読会員は,本会の刊行する出版物の購読を希望する者または団体とする。 シニア会員は,長年放射光学会正会員として放射光科学に貢献してきた定年退職者で,引き続き放射光の発展に貢献する意思があり,評議員会によって推薦され,総会によって決定された者とする。 名誉会員は,放射光学の分野において顕著な功績を有する者で,評議員会によって推薦され,総会によって決定された者とする。

(改訂後)	
定款 第2章,第6条	正会員は放射光学の分野に関して学識を有し,評議員会によってその入会が適当と認められた者とする。 特別賛助会員は,本会の目的に賛同し,日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウムを共催する団体とする。 賛助会員は,本会の目的に賛同し,その事業を援助する者または団体とする。 購読会員は,本会の刊行する出版物の購読を希望する者または団体とする。 シニア会員は,長年放射光学会正会員として放射光科学に貢献してきた定年退職者で,引き続き放射光の発展に貢献する意思があり,評議員会によって推薦され,総会によって決定された者とする。 名誉会員は,放射光学の分野において顕著な功績を有する者で,評議員会によって推薦され,総会によって決定された者とする。

(改訂前)	
定款 第2章,第7条	正会員,または賛助会員として入会しようとする者または団体は,細則に定められた手続きにしたがって申込み,その入会は評議員会によって決定される。
(改訂後)	
定款 第2章,第7条	正会員,特別賛助会員,または賛助会員として入会しようとする者または団体は,細則に定められた手続きにしたがって申込み,その入会は評議員会によって決定される。

(改訂前)	
定款 第2章,第9条	正会員は,会費年額8,000円を前納するものとする。学生は年額2,000円を前納するものとする。 ただし,新たに入会しようとする者の当該年度の会費年額を半額とする。 賛助会員は,1口50,000円の会費を1口以上毎年前納するものとする。 購読会員は,会費年額15,000円を前納するものとする。 シニア会員および名誉会員は,会費を納めることを必要としない。
(改訂後)	
定款 第2章,第9条	正会員は,会費年額8,000円を前納するものとする。学生は年額2,000円を前納するものとする。 ただし,新たに入会しようとする者の当該年度の会費年額を半額とする。 特別賛助会員,賛助会員は,1口50,000円の会費を1口以上毎年前納するものとする。 購読会員は,会費年額15,000円を前納するものとする。 シニア会員および名誉会員は,会費を納めることを必要としない。

(改訂前)	
定款 第2章,第12条	シニア会員を除く会員は,学会誌の配布を受ける。ただし,会費を前納しない正会員,賛助会員および購読会員に対しては,その配布を停止する。シニア会員はオンラインでの閲覧に限る。
(改訂後)	
定款 第2章,第12条	シニア会員を除く会員は,学会誌の配布を受ける。ただし,会費を前納しない正会員,特別賛助会員,賛助会員および購読会員に対しては,その配布を停止する。シニア会員はオンラインでの閲覧に限る。

(改訂前)	
定款 第2章, 第14条	正会員および賛助会員は、評議員会に届け出て退会することができる。
(改訂後)	
定款 第2章, 第14条	正会員、特別賛助会員、および賛助会員は、評議員会に届け出て退会することができる。

13. 会長選挙の細則改訂について

会長候補に辞退者が出た場合について、現行の会長選挙に対する学会細則第5条第1項では対応することができないため、細則の改訂が提案され、下記の通り承認した。

(改訂前)	
細則 第5条 1. 評議員会は、会長任期2年目の6月15日以前に、全正会員に正会員の中から次期会長候補者の推薦を求め、その中から上位3位以内に推薦された者を次期会長候補者とする。	
(改訂後)	
細則 第5条 1. 評議員会は、会長任期2年目の6月15日以前に、全正会員に正会員の中から次期会長候補者の推薦を求め、その中から上位3位以内に推薦された者に予め受諾の意思を確認した上で次期会長候補者とする。ただし候補者は最低3名とし、辞退者が出て3名を下回った場合は順位を繰り上げて上位3位を候補者とする。	

14. シニア会員について

評議員会から推薦された大嶋建一氏をシニア会員として承認した。

シニア会員制度についての定款第2章6条の条文

「シニア会員は、長年放射光学会正会員として放射光科学に貢献してきた定年退職者で、引き続き放射光の発展に貢献する意思があり、評議員会によって推薦され、総会によって決定された者とする。」

に関しては、昨今の情勢に適合していないので、継続審議とする事とした。

■会員異動

第93回評議員会（2012年1月6日）で承認

《正会員入会》

平尾 直久 財団法人高輝度光科学研究センター利用研究促進部門
米村 博樹 高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所放射光科学第一研究系
阪東 恭子 産業技術総合研究所
堀 彰宏 理化学研究所

以上4名

《学生会員入会》

藤岡ゆかり 立命館大学大学院理工学研究科放射光物理研究室
原野 貴幸 東京大学大学院理学系研究科物理学専攻藤森研究室
織田 得郎 佐賀大学農学部生命機能科学科
保田 皓是 京都工芸繊維大学大学院バイオベースマテリアル学専攻ナノ材料物性研究室

以上4名

《退会会員》

正会員6名、賛助会員1社

《会員数》

会員1373名（内学生114名） 名誉会員5名 シニア会員5名 賛助会員46社（48口）

日本放射光学会2011年度決算書
自 2010年10月1日 至 2011年9月30日

1. 収入の部

(単位 円)

科 目	細 目	金	額
会費収入	正会員会費収入	5,968,000	7,900,000
	学生会員会費収入	117,000	
	賛助会員会費収入	1,650,000	
	購読会員会費収入	165,000	
会誌収入	会誌広告収入	2,418,342	3,415,914
	会誌販売収入	127,495	
	別刷収入	870,077	
年会・合同シンポ収入			12,900,188
行事開催収入	基礎講習会	166,000	166,000
単行本出版収入	販売収入 (ビームライン光学技術入門)	150,500	668,814
	販売収入 (検出器ガイド)	0	
	販売収入 (ブルーボックス)	518,314	
雑収入	受取利息	653	34,053
	過年度修正分	33,400	
収入の部合計			25,084,969

2. 支出の部

科 目	細 目	金	額
学会誌出版費	会誌印刷費 別刷印刷費 原稿料 会誌発送費 発送手数料 (ワーズ)	7,668,836 378,567 237,000 641,420 425,308	9,351,131
単行本出版費	仕入れ (ブルーボックス) 発送手数料 (ワーズ)	16,464 15,080	31,544
学会奨励賞費	特注純銀メダル等		116,876
年会・合同シンポ支出	開催費 委員会旅費 事務管理費 (ワーズ)	8,704,877 1,273,500 1,309,750	11,288,127
行事開催費	基礎講習会開催費 若手研究会開催費	276,700 475,875	752,575
事業費	会議費 通信費 印刷費 事務局交通費 公開市民講座開催費	2,350,100 514,098 263,785 78,830 348,487	3,555,300
管理費	事務用品費 消耗品費 給料手当 (選挙開票アルバイト) 運賃 (宅急便+メール便) 支払手数料 租税公課	0 175,520 48,000 390,407 179,256 1,700	794,883
ワーズ事務委託費	ホームページ維持費 Web 会員名簿維持費 会員業務費 庶務業務費 行事開催業務費	252,000 182,700 661,500 946,061 50,000	2,092,261
会計業務費	税理士顧問料		460,000
諸会費	男女共同参画協会連絡会		5,000
雑損失	過年度過計上分 過年度立替金清算	157,896 710,001	867,897
支出の部合計			29,315,594

3. 収支計算の部

科 目	細 目	金	額
当期収支差額			-4,230,625
前期繰越金			12,183,408
資産間移動 (本年度)			-3,560,111
次期繰越金			4,392,672

2011年度資産負債明細

2011年9月30日現在

1. 流動資産の部

(単位 円)

科 目	細 目	金 額
1. 現金及び預金	手持現金残高	1,450,778
	郵便振替残高	1,808,864
	UFJ 銀行普通預金残高	2,126,681
	三井住友銀行普通預金残高	5,961,685
2. 会費未収金	会誌販売未収残高	71,000
	ブルーボックス書籍販売未収残高	252,144
3. 立替金	第25回年会・合同シンポ（旅費など）	1,280,520
流動資産の部合計		12,951,672

2. 負債の部

科 目	細 目	金 額
1. 会費前受金	正会員会費	6,524,000
	学生会員会費	85,000
	賛助会員会費	1,950,000
負債の部合計		8,559,000

3. 剰余金の部

科 目	細 目	金 額
1. 前期繰越金		12,183,408
2. 当期収支差額		-4,230,625
3. 資産間移動（本年度）		-3,560,111
剰余金の部合計		4,392,672

4. 固定資産の部

科 目	細 目	金 額
1. 学会誌在庫金	学会誌（創刊号～Vol. 24, No. 5）	3,476,000
2. 電話加入権		70,000
3. 什器備品（償却済み）		14,111
固定資産の部合計		3,560,111

日本放射光学会2012年度予算書
自 2011年10月1日 至 2012年9月30日

1. 収入の部

(単位 円)

科 目	細 目	金	額
会費収入	正会員会費収入 学生会員会費収入 賛助会員会費収入 購読会員会費収入 特別賛助会員会費収入	9,000,000 160,000 2,200,000 400,000 300,000	12,060,000
会誌収入	会誌広告収入 会誌販売収入 別刷収入	4,000,000 100,000 700,000	4,800,000
年会・合同シンポ収入			11,882,140
行事開催収入	基礎講習会	200,000	200,000
単行本出版収入	販売収入 (検出器ガイド) 販売収入 (ブルーボックス)	240,000 53,560	293,560
印税収入	印税収入 (検出器ガイド) 印税収入 (ブルーボックス)	44,000 1,234,800	1,278,800
雑収入	受取利息	1,000	1,000
収入の部合計			30,515,500

2. 支出の部

科 目	細 目	金	額
学会誌出版費	会誌印刷費 別刷印刷費 原稿料 会誌発送費 発送手数料 (ワーズ) 電子書籍試作費用	7,050,000 330,000 100,000 600,000 400,000 110,000	8,590,000
単行本出版費	仕入れ (ブルーボックス) 仕入れ (検出器ガイド) 発送手数料 (ブルーボックス) (ワーズ) 発送手数料 (検出器ガイド) (ワーズ)	560,076 221,760 268,205 74,000	1,124,041
学会奨励賞費	特注純銀メダル等		160,000
年会・合同シンポ支出	開催費 委員会旅費 事務管理費 (ワーズ)	7,666,450 1,472,880 1,200,000	10,339,330
行事開催費	基礎講習会開催費 若手研究会開催費	200,000 500,000	700,000
事業費	会議費 通信費 印刷費 事務局交通費 公開市民講座開催費 AOFSRR 協賛金	2,300,000 600,000 260,000 150,000 335,230 300,000	3,945,230
管理費	事務用品費 消耗品費 給料手当 (選挙開票アルバイト) 運賃 (宅急便+メール便) 支払手数料 租税公課	50,000 160,000 50,000 500,000 200,000 1,500	961,500
ワーズ事務委託費	ホームページ維持費 Web会員名簿維持費 会員業務費 庶務業務費 行事開催業務費 広告業務費	252,000 200,000 700,000 950,000 50,000 1,200,000	3,352,000
会計業務費	税理士顧問料		460,000
諸会費	男女共同参画協会連絡会		5,000
支出の部合計			29,637,101

3. 収支計算の部

科 目	細 目	金	額
当期収支差額			878,399
前期繰越金			4,392,672
次期繰越金			5,271,071

日本放射光学会2012年度組織

■会長（任期：2011.10.01-2013.09.30）

水木純一郎（関学）

■幹事（任期：2011.10.01-2013.09.30）

庶務幹事 木村 洋昭（JASRI）

行事幹事 松田 巖（東大）

編集幹事 玉作 賢治（理研）

渉外幹事 若槻 壮市（KEK）

会計幹事 唯 美津木（分子研）

■評議員

（任期：2010.10.01-2012.9.30）

朝倉 清高（北大）

足立 純一（KEK）

大橋 治彦（JASRI）

加藤 政博（分子研）

小林 克己（KEK）

佐々木 聡（東工大）

澤 博（名大）

大門 寛（奈良先端大）

高田 昌樹（JASRI）

竹田 美和（名大）

平井 康晴（SAGA-LS）

藤森 淳（東大）

宮原 恒謙（日本女子大）

柳下 明（KEK）

若槻 壮市（KEK）

（任期：2011.10.01-2013.09.30）

足立 伸一（KEK）

雨宮 健太（KEK）

柿崎 明人（東大物性研）

籠島 靖（兵庫県立大）

河田 洋（KEK）

北村 英男（理研）

木下 豊彦（JASRI）

木村 滋（JASRI）

坂田 誠（JASRI）

谷口 雅樹（広大）

野村 昌治（KEK）

初井 宇記（理研）

百生 敦（東大）

横山 利彦（分子研）

渡邊 信久（名大）

■行事委員（任期：2011.10.01-2012.09.30）

松田 巖（東大）委員長

足立 純一（KEK）

今村 真幸（SAGA-LS）

小嗣 真人（JASRI）

松波 雅治（UVSOR）

宮本 幸治（広大）

矢治光一郎（東大）

■渉外委員（任期：2011.10.01-2012.09.30）

若槻 壮市（KEK）委員長

平木 雅彦（KEK）副委員長

■編集委員

（任期：2010.10.01-2012.09.30）

玉作 賢治（理研）委員長

舟越 賢一（JASRI）

原田健太郎（KEK）

松村 武（広大）

高橋 聡（東北大）

登野 健介（JASRI）

岩山 洋土（UVSOR）

藤森 伸一（JAEA）

水牧仁一朗（JASRI）

渡部 貴宏（JASRI）

（任期：2011.10.01-2013.09.30）

阿部 仁（KEK）

山崎 裕一（KEK）

原田 慈久（東大）

河本 正秀（SAGA-LS）

上杉健太郎（JASRI）

木村 昭夫（広大）

野中 敬正（豊田中央研究所）

山田 悠介（KEK）

引間 孝明（理研）

松下 智裕（JASRI）

城地 保昌（JASRI）

■2012年度の主な事業計画

- 第5回 AOFSSR スクール（Cheiron School 2011）
2011年9月26日～10月5日（於：SPRING-8）
- 第6回 AOFSSR
洪水の為延期（元予定2011年10月24-26日）（於：タイ パンコック）
- 第25回年会・放射光科学合同シンポジウム
2012年1月6日-9日（於：鳥栖市民文化会館/中央公民館）
- 第25回総会
2012年1月7日（於：鳥栖市民文化会館）
- 第16回学会奨励賞授与
2012年1月7日（於：鳥栖市民文化会館）
- 日本放射光学会市民公開講座
2012年1月8日（於：鳥栖市民文化会館）
- 若手研究会
- 放射光基礎講習会
2012年夏季開催予定
- 評議員会（11月，1月，4月，7月）
- 幹事会（10月，12月，3月，6月）
- 編集委員会（年3回）
- 行事委員会（年1回（年会時））

-
- 第17回学会奨励賞受賞候補者選考会議
 - 次期評議員選挙
 - 学会誌の定期発行（年6回）
 - Vol. 24, No. 6/2011年11月末発行
 - Vol. 25, No. 1/2012年1月末発行
 - Vol. 25, No. 2/2012年3月末発行

- Vol. 25, No. 3/2012年5月末発行 2色刷
- Vol. 25, No. 4/2012年7月末発行 2色刷
- Vol. 25, No. 5/2012年9月末発行 2色刷
- 第26回年会・放射光科学合同シンポジウム（2013年1月/名古屋大学）準備

■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2012年 5/7	第48回真空技術基礎講習会	大阪府立産業技術総合 研究所	日本真空協会関西支部, (株)大阪府技術 協会, 日本真空工業会関西支部 E-mail: yamanaka@tri.pref.osaka.jp	25・2
7/4	The 4th International Workshop on the Dual Nature of f-electrons	じばさんセンター	新学術領域研究「重い電子系の形成と 秩序化」 E-mail: fujimori@spring8.or.jp	25・2
7/15-18	第12回 SPring-8 夏の学校—最先端の放射 光科学を学ぶ—	SPring-8	(株)高輝度光科学研究センター, (株)理化学 研究所播磨研究所, (株)日本原子力研 究開発機構量子ビーム応用研究部門, 兵庫県立大学大学院物質理学研究科・ 生命理学研究科, 兵庫県立大学高度産 業科学技術研究所, 関西学院大学大学 院理工学研究科, 東京大学放射光連携 研究機構, 岡山大学 E-mail: 2012summerschool@ spring8.or.jp	25・2
9/3-7	19th WIEN2k WORKSHOP	早稲田大学理工学術院 西早稲田キャンパス	ウィーン工科大学, 早稲田大学 E-mail: wien2k-ws2012@ cms.sci.waseda.ac.jp	25・2
9/5-9/8	GOLD2012: The 6th International Conference on Gold Science, Technology and its Applications	京王プラザホテル東京	GOLD2012組織委員会 E-mail: goldcat@tmu.ac.jp	24・6

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

■第48回真空技術基礎講習会

実習を主にした・初級者のための真空技術基礎講習会。

真空の概念、真空ポンプ、計測、リークテスト等。

主 催：日本真空協会関西支部, (株)大阪府技術協会, 日本真空工業会関西支部

協 賛：日本放射光学会, 他

日 時：2012年5月22日(火)～5月25日(金)

会 場：大阪府立産業技術総合研究所

参加費：主催団体会員 52,000円

協賛団体会員 55,000円

一般 60,000円

定 員：60名

締切日：2012年5月7日(月)

申込・連絡先：

大阪府立産業技術総合研究所内

(株)大阪府技術協会

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野 2-7-1

TEL：0725-53-2329 FAX：0725-53-2332

E-mail：yamanaka@tri.pref.osaka.jp

URL：http://www.tri.pref.osaka.jp/dantai/g-kyoukai/

■The 4th International Workshop on the Dual Nature of f-electrons

重い電子系化合物におけるf電子の局在・遍歴の二重性に関する最新の研究結果,特に高分解能角度分解光電子分光などの先端的な分光的手法を用いた成果についての発表・議論を通じ,国内外の研究者間の情報交換・交流を図る。

主 催：新学術領域研究「重い電子系の形成と秩序化」

日 時：2012年7月4日(水)～7月6日(金)

場 所：じばさんセンター (670-0962 姫路市南駅前町123)

参加費：無料

ホームページ：

<https://sites.google.com/site/dualnatureworkshop2012/>

ポスター講演申込：

ポスター講演をご希望の方はホームページよりご応募ください。

申込締切：2012年4月13日(金)

問合せ先：

679-5148 兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1

日本原子力研究開発機構 藤森伸一

TEL：0791-58-2604, FAX：0791-58-0311

E-mail：fujimori@spring8.or.jp

■第12回 SPring-8 夏の学校

—最先端の放射光科学を学ぶ—

SPring-8 夏の学校は、次世代の放射光利用研究者の発掘と育成を目的とし、大学院修士（博士前期）課程に在学中の学生および学部4年生を主な対象として毎年7月に4日間の日程で開催され今年で12回目となります。

SPring-8 で活躍する最前線の研究者による講義と実習を組み合わせて行うことにより、放射光の原理と利用研究の基礎を学ぶと共に、放射光を使う実習によって最先端の実験を体験出来るようにカリキュラムが準備されています。また、SPring-8 のキャンパス内では究極の X 線源である自由電子レーザー（XFEL）が建設され、2012年3月に供用開始となります。

主 催： 勸高輝度光科学研究センター、鈹理化学研究所播磨研究所、鈹日本原子力研究開発機構量子ビーム応用研究部門、兵庫県立大学大学院物質理学研究科・生命理学研究科、兵庫県立大学高度産業科学技術研究所、関西学院大学大学院理工学研究科、東京大学放射光連携研究機構、岡山大学

後 援： 勸ひょうご科学技術協会

日 時： 2012年7月15日(日)~18日(水) (予定)

場 所： SPring-8

参加費： 無料(旅費・宿泊費等は自己負担)

対 象：

- ・大学院修士（博士前期）課程の学生
- ・人数に余裕があれば学部4年生も受入れ可
- ・主催大学の推薦枠あり
- ・所属大学で放射線業務従事者として教育を受け登録されていること

(詳細はホームページをご覧ください)

定 員： 60名程度

申込期間：

4月23日(月)10:00~5月25日(金)17:00まで (予定)

申込方法：

On-line 登録での参加受付

<http://www.spring8.or.jp/ja/> ⇒ 学術会合 ⇒ 第12回 SPring-8 夏の学校

(Web サイトは4月上旬にオープン予定)

問合せ先：

勸高輝度光科学研究センター (JASRI/SPring-8)

研究調整部 SPring-8 夏の学校事務局

〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1

TEL : 0791-58-0987 FAX : 0791-58-0988

E-mail : 2012summerschool@spring8.or.jp

■19th WIEN2k WORKSHOP

世界中で1500を超えるグループによって広く使用されている第一原理バンド計算コード WIEN2k (<http://www.wien2k.at/>) の国際講習会を開催いたします。WIEN2k は密度汎関数理論と Augmented Plane Wave plus Local Orbitals (APW+lo) 法に基づく全電子バンド計算プログラムで、固体の電子状態を精度良く計算することができます。また、得られた電子の波動関数を元にして、格子振動や計算やメスバウア分光、X線吸収・発光スペクトル、電子線エネルギー損失分光等の様々なスペクトルの計算が可能です。

講習会にはコード開発者を含めた講師がヨーロッパと日本から参加いたします。講習会は2部構成となっており、前半2日間(4, 5日)は、はじめて第一原理計算を行う方、もしくは、はじめて WIEN2k コードを使用する方を対象にし、電子状態計算の理論的なバックグラウンドを含めた初歩からの講義と一人一台ずつを使った実習を行います。後半2日間(6, 7日)は前半2日間に参加した方及び WIEN2k の使用経験がある方を対象にし、一歩進んだ WIEN2k の応用に関する講義と招待講演、ならびに各自の問題に WIEN2k を適用する実習を行います。最終日には WIEN2k を用いた研究成果発表(口頭発表、ポスター発表)も行います。

主 催： ウィーン工科大学、早稲田大学

日 時： 2012年9月3日(月)~7日(金)

場 所： 早稲田大学理工学術院 西早稲田キャンパス

(<http://www.sci.waseda.ac.jp/>)

〒169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1

参加登録：

参加希望の方は、1)氏名(漢字)、2)氏名(英語表記)、3)所属、4)所属先住所、5)電子メールアドレス、を wien2k-ws2012@cms.sci.waseda.ac.jp まで電子メールにてお送りください。また口頭発表、ポスター発表をご希望の方は、同時に6)口頭・ポスター発表の指定、7)講演タイトル、8)講演者リストもお送り下さい。

参加登録締切： 2012年7月31日(火)

参加費： 20,000円

問合せ先：

担当者：山本知之(早稲田大学)

E-mail: wien2k-ws2012@cms.sci.waseda.ac.jp

ホームページ：

<http://www.cms.sci.waseda.ac.jp/wien2k-ws2012.htm>

■新刊紹介

■磁気イメージングハンドブック

著 者：日本磁気学会

出版社：共立出版

ISBN 番号：ISBN978-4-320-03468-6

定 価：6000円+税

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 玉作賢治

渉外幹事 若槻壮市

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr252

Password : Q3atwPrb

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、[学会誌「放射光」のオンライン閲覧](#)をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、若槻 (soichi.wakatsuki@kek.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、玉作 (tamasaku@spring8.or.jp) までお願いします。